

招かれざる客② (撮影：2019年1月～2026年2月 斧原)

2～3年前から、高い所で「ピーツツピーピー」「ピュルピュルピーポー」ときれいな声で鳴くヒヨドリくらいの大きさの青い鳥をよく見るようになった。調べたらイソヒヨドリだった。海岸近くの崖地や岩陰に住んでいるが、最近は内陸にも生活圏をひろげてきたのだとか。綺麗な色をしているので、近くで見たいとエサをあげたら、これが大変な困り者だった。



2025/3/6



2025/3/2

こちらがオス
頭から背中が青藍色
腹は赤褐色



2023/5/3



こちらはメス
全体に地味な灰褐色で
腹に鱗状の模様がある

2023/5/6

エビやカニ、昆虫類を食べるのでミルワームを置いてみたらすぐに見つけて食べに来た

味をしめたイソヒヨは当レストランを自分の縄張りに決めたようだ

バードケーキやクルミもよく食べる



ミルワーム

それ以来、頻繁にレストラン内を歩き回ったり、高いところで監視して常連客を追い払うようになった。



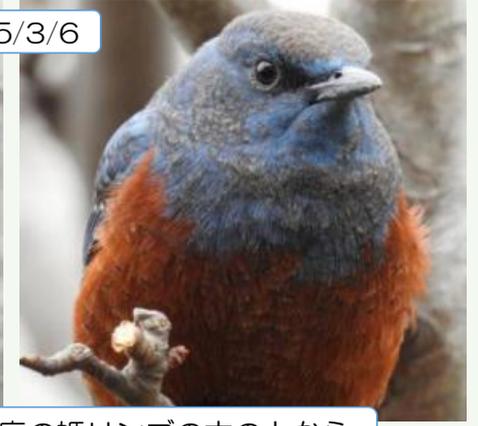
縄張りを見張るイソヒヨドリの目は鋭い。シジュウカラやメジロたち小型の鳥は近づけなくなった



隣家の屋根の上から



2025/3/6



庭の姫リンゴの木の上から



境界の塀の上から



イソヒヨはエサ場に誰かが来るとすぐに追い払いに行く。小さな鳥たちは落ち着いて食事できない

エサ場で食事時のメジロが逃げ出した



2026/2/2

ひと口食べるごとにキョロキョロと周りを警戒してる

左の一連の攻防はほんの10数秒間に起きた出来事



ヒヨドリが襲ってきたんだ



すぐにヒヨドリは逃げた



イソヒヨドリがきた

キーツ、キーツ、キーツ！



でもすぐにイソヒヨドリは逃げた



2026/1/29

みんなが縄張りを主張

キーツ、キーツ、キーツ！

ヒヨドリの逆襲だ。激しい生存競争だね。



彼らを邪魔もの扱いしたけれど、でもよく見ればとても可愛い顔をしているんだよね。(ヒヨドリ)

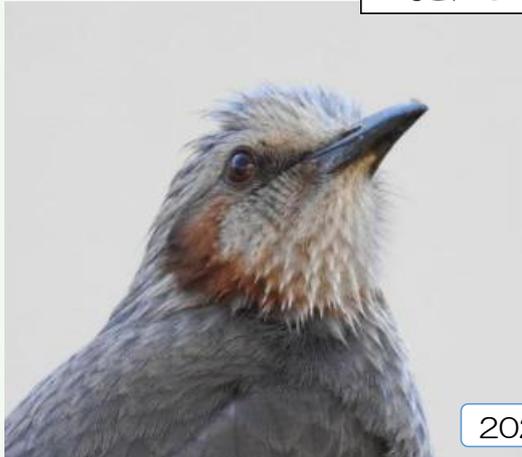
2019/1/15



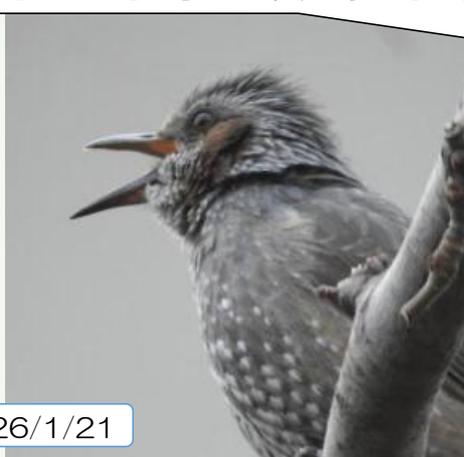
2024/1/29



鳴き声は“ヒーヨ”というか“キーツ”というか高い声



2026/1/21



こちらはムクドリ。愛嬌のある可愛い顔をしている。

群れで行動し“ギアー、ギアー”と騒がしく鳴く



2022/1/26



2020/1/15

繁殖期には仲良しペアでやってくる



2019/1/26

結局、彼らを庭から追い出すことは難しい。彼らも腹が減るし。

そこでエサ場を軒下だけにしておくのは少量、私がいるときだけにした。仕事や撮影しながら見守り「招かれざる客」が来た時には、少しだけ食べさせ（撮影し）たあとで睨んだり手を振って退去してもらうことにした。

今年も庭の巣箱をシジュウカラのパパが下見に来ている。2月4日